

この夏、六本木に「宇宙の入り口」が出現！

宇宙と芸術展：かぐや姫、ダ・ヴィンチ、チームラボ

～見るだけでは終わらない。宇宙を体感できる注目のインスタレーション作品を発表！
その他、日本初公開の火星の仮想住居模型や宇宙開発の父ツィオルコフスキーが描いた
ロケット理論のスケッチなど、各セクションの新たな見どころを公開～

森美術館が開催する「宇宙と芸術展：かぐや姫、ダ・ヴィンチ、チームラボ（開催期間：2016年7月30日（土）から2017年1月9日（月・祝））」の、注目作品ならびに見どころを新たに発表いたします。

本展では、歴史的な天文学資料、現代アーティストによる芸術作品、宇宙開発の最前線に至るまで、宇宙に関する古今東西ジャンルを超えた多様な出展物約200点を一挙に公開します。「人は宇宙をどう見てきたか?」、「宇宙という時空間」、「新しい生命観—宇宙人はいるのか?」、「宇宙旅行と人間の未来」の4つのセクションで構成し、未来に向かっての新たな宇宙観、人間観を提示することを試みます。

注目展示は、国内外の現代アーティストによる宇宙を体感できるインスタレーションです。宇宙にいるかのような浮遊感を体験できるチームラボの新作や、太陽の光の強度を音で表現したり、日時計の刻んでいく時間を感じられるインスタレーションなど、壮大なスケールの作品を展示いたします。また、「宇宙開発の父」と称されるコンスタンティン・ツィオルコフスキーが描いたロケット理論のスケッチや、NASAが実施した火星住居設計コンペティションで、最優秀賞に選ばれた未来の仮想住居《マーズ・アイス・ハウス》の模型など、いずれも日本初公開となる出展物も見どころのひとつとなっています。

まるで「宇宙の入り口」に降り立ったかのような体験ができる注目作品の数々に是非ご期待ください。



チームラボ《追われるカラス、追うカラスも追われるカラス、そして衝突して咲いていく - Light in Space》
2016年
インタラクティブ・デジタル・インスタレーション
4分20秒（ループ）
サウンド：高橋英明

■ 体感型インスタレーション作品介绍

本展のための新作インスタレーション

チームラボ《追われるカラス、追うカラスも追われるカラス、そして衝突して咲いていく - Light in Space》

本作は、テクノロジーとアートの境界を探る活動を行うチームラボによる本展のための新作で、映像に囲まれたインタラクティブ・インスタレーションです。宇宙空間を縦横無尽に飛んでいくカラス達の中、観客は宇宙遊泳をしているような体験をすることができます。このカラスは日本神話で国生みに重要な役を果たした三本足の八咫鳥で、太陽



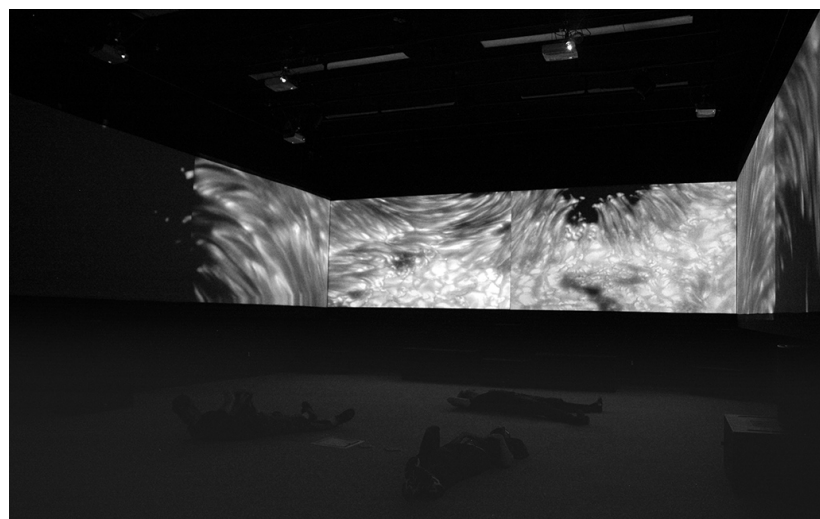
の化身でもあり、カラス達は観客をよけながら飛んで行きますが、時々、よけきれず観客にぶつかって色とりどりの花——すなわち生命を咲かせることで、地球上の生命の営みの根源である太陽エネルギーを具現化しています。

チームラボ
《追われるカラス、追うカラスも追われるカラス、そして衝突して咲いていく - Light in Space》
2016年
インタラクティブ・デジタル・インスタレーション
4分20秒(ループ)
サウンド:高橋英明

太陽の鼓動を体感！音と映像のインスタレーション

セミコンダクター《ブリリアント・ノイズ》

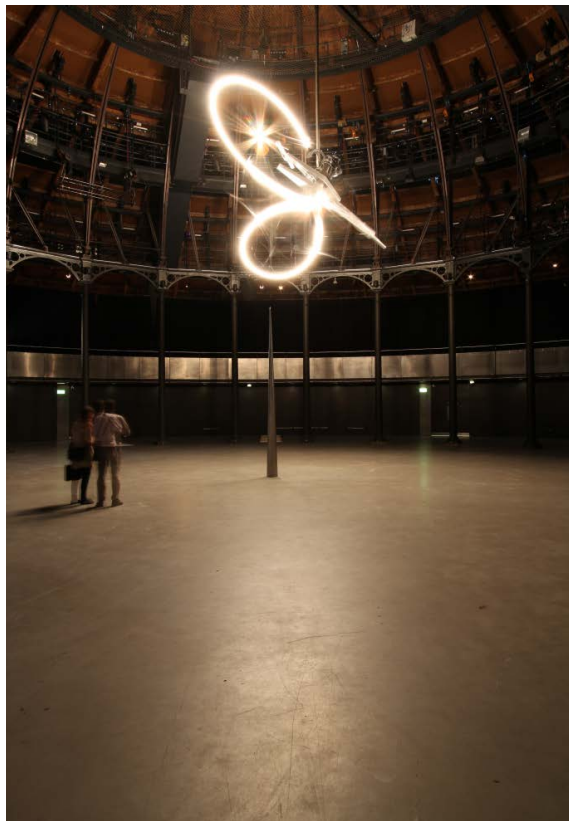
太陽光の強度を音で表現し、何千本もの太陽活動の記録映像に重ねた3チャンネル・ビデオ・インスタレーションです。コの字型で観客を囲む3面の大型スクリーンに、太陽の熱核融合で放出される巨大なエネルギー波が映し出され、それに合わせて音が変わるため、まるで太陽の間近にいるような体験ができます。



セミコンダクター
《ブリリアント・ノイズ》
2006年
マルチチャンネル・ビデオ・インスタレーション
10分(ループ)

古来の時間観測法である日時計を現代アートに コンラッド・ショウクロス《タイムピース》

作家が長年取り組んでいる「時間」をテーマに、日時計と太陽の関係の中で体験される崇高な天文学的時間を表現した大型の動く作品(キネティック・インスタレーション)です。日時計は、人類が時間を測るようになって最初に使用した科学的手法のひとつであり、水時計と共に長く文明の証となってきました。人工の太陽光によって原初的な体験を創り出すという一見矛盾に満ちた、不可思議な体験ができます。刻々と時を刻む日時計の影の神秘の動きをお楽しみください。

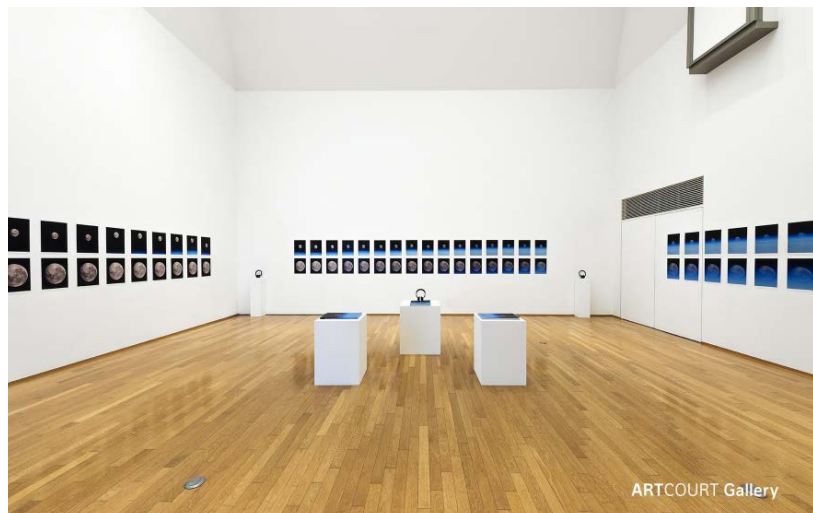


コンラッド・ショウクロス
《タイムピース》
2013年
アルミニウム、鉄、機械、ライト サイズ可変
展示風景：ラウンドハウス、ロンドン
Courtesy: Victoria Miro, London

宇宙飛行士とのコラボレーションによる“月”の奏でるシンフォニー

野村 仁《‘moon’ score: ISS Commander – Listening to it on Mars, now》

五線を写し込んだフィルムで月を撮影し、月を音符に見立てて音楽を作成する「‘moon’ score」シリーズの発展形となる作品です。ISSに滞在中の若田光一宇宙飛行士が撮影した月のオリジナル写真が40枚、引き伸ばした写真が40枚と、3楽章の美しいシンフォニーから構成されています。本展ではそのうち2つの楽章を聴くことができます。



野村 仁
《‘Moon’ Score: ISS Commander – Listening to it on Mars, now.》
2009年(写真)、2016年(譜面)、2009-2013年(CD)
写真、譜面、CD
各42×29.7 cm(写真)、各43×30.3 cm(譜面)
作家蔵
協力：JAXA宇宙環境利用センター
撮影：豊永政史
画像提供：アートコートギャラリー

■ 各セクションの見どころ

[SECTION 1] 人は宇宙をどう見てきたか？

人間が宇宙をどのように見てきたかという歴史的な宇宙観の一端を、東西の神話・宗教美術作品や貴重な天文学資料等を通して紹介します。

出展作家

北山善夫、北脇 昇、前田征紀、向山喜章 ほか

出展物

レオナルド・ダ・ヴィンチ、ガリレオ・ガリレイの天文学手稿、星曼荼羅、両界曼荼羅、十二天像、チベット曼荼羅、竹取物語絵巻、流星刀、天球図、天球儀、天体望遠鏡、暦等、ルネッサンスや江戸時代の貴重な天文学資料ほか

宇宙を仏教的観点から紐解く。

多次元宇宙を表す古来の宇宙像「曼荼羅」

南北朝時代、室町時代に描かれた両界曼荼羅や星曼荼羅、方位に宿る神々を描いた十二天像、チベット曼荼羅などを展示。アジア的な世界観や仏教的観点から見た宇宙像を探ります。

鉄の隕石から作られた伝説の刀「流星刀」

明治時代、富山県に流れ落ちた隕鉄と呼ばれる鉄の隕石から作られた日本刀「流星刀」を展示。日本古来の刀から宇宙と地球の関係性を探ります。



《両界曼荼羅》鎌倉時代(14世紀) 双幅、絹本着色
各235.5 x 197.2 cm 所蔵：三室戸寺、京都



岡吉国宗《流星刀》1898年 隕鉄 刃長68.6cm 反り1.5cm
所蔵：東京農業大学図書館 撮影：木奥恵三

[SECTION 2] 宇宙という時空間

星さえも吸い込むブラックホール、今眺めている星の光が何億光年も彼方から放たれている事実、11次元あるといわれる宇宙空間の不思議、さらに私たちの時空認識を刷新した天体観測技術の驚くべき進歩等が、現代美術の作品等によって表現されます。

出展作家

ヴィヤ・セルミンズ、ビョーン・ダーレム、アンドレアス・グルスキー、ジア・アイリ(贾蕩力)、森万里子、トレヴァー・パグレン、セミコンダクター、コンラッド・ショウクロス、ヴォルフガング・ティルマンズ ほか

現代美術のスターたちが表現するそれぞれの宇宙

巨大なブラックホールを中心に回る銀河系、多元宇宙理論などを表現したビョーン・ダーレムの大型インスタレーション、コンピュータ画面のピクセルとなった超高感度の天体望遠鏡がとらえた深宇宙の星々を、マクロとミクロが交差するイメージとしてとらえたヴォルフガング・ティルマンズの写真作品等、さまざまな宇宙観が展示されます。



ヴォルフガング・ティルマンズ
《金星の日面通過》
2012年
紙にインクジェットプリント
約44 x 33 cm
所蔵：ワコウ・ワークス・オブ・アート



ビョーン・ダーレム 《ブラックホール(M-領域)》2008年
木、スチール、蛍光灯、電球、塗料 サイズ可変
撮影：プレイス・アディロン
画像提供：サーチ・コレクション、ロンドン

[SECTION 3] 新しい生命観－宇宙人はいるのか？

隕石・化石等の人間史を超えた地球史を起点として、江戸時代のUFO伝説ともいわれる「うつろ舟の蛮女」から、人間が想像してきた宇宙人像、更には最先端の遺伝子工学やA.I. 技術等について言及する作品を紹介します。

出展作家

ヴァンサン・フルニエ、ローラン・グラッソ、ピエール・ユイグ、
パトリア・ピッチニーニ、空山 基、杉本博司 ほか

出展物

隕石、化石、「うつろ舟の蛮女」に関する資料、荒俣 宏SF雑誌コレクション、
ダーウィンの「種の起源」 など

セクシーでメカニカルな女性を造形し、世界中のクリエイターから注目を集める空山 基の《セクシーロボット》

エアロスミスアルバム「Just Push Play」でアルバムジャケットにも使用され、イラストレーターとして世界的に高く評価されている空山基の立体作品が登場します。



パトリア・ピッチニーニ
《ザ・ルーキー》 2015年
ファイバーグラス、シリコン、
毛 48 x 65 x 46 cm
作家蔵 画像提供：トラルノ・
ギャラリー、メルボルン、ロズリ
ン・オクスレイ9・ギャラリー、
シドニー、ホスフェルト・ギャラ
リー、サンフランシスコ



空山 基
《セクシーロボット》
2016年
FRP、鉄、金・銀メッキ調塗料、
LEDネオンライト
182 x 60 x 60 cm
Courtesy: NANZUKA
撮影: Tanaka Shigeru

[SECTION 4] 宇宙旅行と人間の未来

宇宙旅行時代到来間近の今、これからの人間と宇宙の関係や、人間の生き方はどう変わっていくのかという問題について、アーティストのビジョンを紹介し、未来を描きます。また、米ソの宇宙開発の歴史やJAXAの「ISS/きぼう 文化・人文社会科学利用パイロットミッション」参加作品、《マーズ・アイス・ハウス》、HAKUTO等、宇宙開発の最前線を展示します。

出展作家

ジュール・ド・バランクール、マリア・グルズデヴァ、野村 仁、逢坂卓郎、トム・サククス、
チームラボ ほか

出展物

コンスタンチン・ツィオルコフスキーの手稿(複製)、宇宙飛行士ガガーリン、テレシュ
コワ、アームストロングの写真(複製)、マーズ・アイス・ハウス(模型)、HAKUTO ほか

「宇宙開発の父」コンスタンティン・ツィオルコフスキーの描いたスケッチ(複製)

ロケット理論や宇宙航空学のパイオニアとしてロシアの宇宙開発に貢献し、SF
小説家でもあった、科学者ツィオルコフスキーのインスピレーション溢れるス
ケッチを展示します。

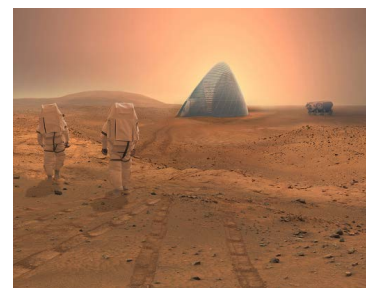
人間の未来の住居、 火星での仮想住居《マーズ・アイス・ハウス》の模型

NASAが2030年代宇宙飛行士4名を火星に1年間滞在させて探索を行う計画
に向けて実施した、火星住居設計コンペティションで一位に輝いた、曾野正之・
祐子を含むNYの建築家チームの仮想住居を日本初公開。人間の未来の生活の
在り方を提示します。

*本展は、一部展示替えの作品があります。



コンスタンチン・ツィオルコフ
スキー
手稿(「宇宙旅行アルバム」より)
1933年
鉛筆、紙
31.1 x 22.7 cm
所蔵: ロシア科学アカデミー
アーカイブ(ARAS)
ARAS. F. 555. File 84. Sheet
15.



スペース・エクスプロレーション・アーキテクチャ・アンド・クラ
ウス・アーキテクチャ・オフィス
《マーズ・アイス・ハウス》
2015年 3Dプリント模型、台座に内照ライト、映像
作家蔵
画像提供: Clouds AO/SEArch

■ 開催概要

展覧会名: 宇宙と芸術展：かぐや姫、ダ・ヴィンチ、チームラボ

主催: 森美術館、NHK、NHKプロモーション、読売新聞社

企画: 南條史生(森美術館館長)、椿 玲子(森美術館アソシエイト・キュレーター)

企画協力: 龍谷ミュージアム、金沢工業大学ライブラリーセンター

助成: 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ

協賛: NEC、株式会社大林組、IHI 運搬機械株式会社

特別協力: 宇宙航空研究開発機構(JAXA)

制作協力: パナソニック株式会社

協力: シャンパーニュ ポメリー

会期: 2016年7月30日(土) - 2017年1月9日(月・祝)

会場: 森美術館 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー53F

開館時間: 10:00 - 22:00 | 火 10:00 - 17:00 *いずれも入館時間は閉館時間の30分前まで *会期中無休

入館料: 一般1,600円、学生(高校・大学生)1,100円、子供(4歳~中学生)600円

*表示料金に消費税込 *展望台 東京シティビュー、屋上スカイデッキへは別途料金がかかります。

一般のお問い合わせ: Tel: 03-5777-8600(ハローダイヤル) **森美術館ウェブサイト:** www.mori.art.museum

■ 前売り券情報

5月21日(土)より、「宇宙と芸術展：かぐや姫、ダ・ヴィンチ、チームラボ」通常前売り券と2種類の特別企画前売り券を販売いたします。

前売り券

料金: 一般1,400円、学生(高校・大学生)1,000円、子供(4歳~中学生)500円

販売期間: 5月21日(土) - 7月29日(金)

期間限定ペアチケット

料金: 2,000円(消費税込/2枚1組)

*開幕初日から8月31日(水)までの期間限定で利用可能なお得な2枚セット券

*1,000組2,000枚限定(売り切れ次第終了)

展覧会公式ミッションワッペン セット券

料金: 一般2,000円、学生(高校・大学生)1,600円、子供(4歳~中学生)1,100円

*本展のオリジナル「ミッションワッペン」(非売品)1個がセットになった前売り券

*1,000枚限定(売り切れ次第終了) *商品は展覧会特設ショップにてお渡しとなります。

販売先: セブンチケット(セブン-イレブン)、チケットぴあ、ローソンチケット、イープラス、CNプレイガイドなどで。

*表示料金に消費税込 *手数料がかかる場合があります。各プレイガイドにご確認ください。

*期間限定ペアチケット、公式ミッションワッペンセット券は、セブンチケットのみで販売します。

(上) トム・サククス 《ザ・クローラー》 2003年 フォーム、接着剤、木、金属製フレーム
185.4×61×101.6 cm(シャトル) 114.3×200.7×171.5 cm(台)
Courtesy: Galerie Thaddeus Ropac, Paris/Salzburg 撮影: Philippe Servent

(下) ネリ・オックスマン 《カマール、月を彷徨う人》 2014年
In collaboration with Christoph Bader, Dominik Kolb (Deskriptiv) and Joe Hicklin (The Mathworks), in partnership with STRATASYS Ltd
Stratasys Objet500™ Connex3 Color Multi-material 3D Production System. による3D印刷 撮影: Yoram Reshef



❓ 展覧会関連パブリックプログラム

■ トークセッション「知と宇宙観をめぐる旅」 ※日英同時通訳付

天動説が主流であり、望遠鏡のない時代、レオナルド・ダ・ヴィンチがすでに天文学に興味を抱いていたことを、本展に出展されるアトランティコ手稿から知ることができます。アトランティコ手稿を所蔵するアンブロジーアーナ図書館・絵画館のアルベルト・ロッカ氏にその来歴について伺うとともに、科学の貴重な初版本を所蔵し、研究する金沢工業大学ライブラリーセンターの竺覚暁氏を迎え、宇宙科学が発達する以前の宇宙観について語り合います。

出演：アルベルト・ロッカ(アンブロジーアーナ図書館・絵画館館長)

竺 覚暁(金沢工業大学ライブラリーセンター館長)

モデレーター：南條史生(森美術館館長)

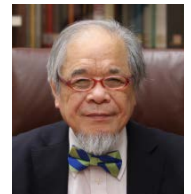
日時：2016年7月30日(土)14:00-16:00(開場:13:30)

会場：森美術館オーデトリウム

定員：80名(要予約) **料金：**無料(要展覧会チケット)



アルベルト・ロッカ



竺 覚暁

■ アーティストトーク ※日英同時通訳付

出展アーティストが、自作と宇宙との関係性について語ります。

出演：ビョーン・ダーレム、セミコンダクター、ジア・アイリ(賈蕩力)、

パトリシア・ピッチニーニ、マリア・グルズデヴァ ほか

日時：2016年7月30日(土)18:00-20:00(開場:17:30)

会場：森美術館オーデトリウム

定員：80名(要予約)

料金：無料(要展覧会チケット)



ビョーン・ダーレム



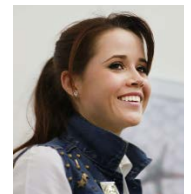
セミコンダクター



ジア・アイリ(賈蕩力)



パトリシア・ピッチニーニ



マリア・グルズデヴァ

撮影: Alli Oughtred

■ シンポジウム「科学者と読み解く『宇宙と芸術展』」 ※日英同時通訳付、手話同時通訳付

宇宙時代に突入した現代、人と宇宙の関係は大きく変化しています。これにより、宇宙とはなにか、芸術とはなにかという問いにも新たな視点が求められてくることでしょうか。人はどのように宇宙を認識し、芸術はどのように変貌していくのでしょうか。宇宙工学、天文学の専門家、アーティストを迎え、本展をそれぞれの視点から読み解きます。

出演：的川泰宣(宇宙航空研究開発機構(JAXA)名誉教授)、渡部潤一(国立天文台副台長)、野村 仁(アーティスト)、猪子寿之(チームラボ代表)

モデレーター：南條史生(森美術館館長)

日時：2016年8月20日(土)14:00-16:00(開場:13:30)

会場：アカデミーヒルズ(六本木ヒルズ森タワー49階)

定員：150名(要予約) **料金：**一般3,500円、MAMCメンバー無料

*当日プログラム参加者の方に展覧会チケット1枚を差し上げます。

主催：森美術館、アカデミーヒルズ



的川泰宣



渡部潤一



野村 仁

協力: JAXA



猪子寿之

■トークセッション「芸術のなかの宇宙観」 ※日本語のみ

仏教の世界観を描いた曼荼羅図は、宇宙の真理を表わすとも言われます。仏教絵画史の専門家である泉武夫氏、空海から現代アートまで造詣の深い篠原資明氏を迎え、お話をうかがうと共に、そのミニマルな作品が現代の曼荼羅を想わせる向山喜章氏、神秘思想などを自身の体験に基づいて表現する前田征紀氏を交え、時代を超えて人の心に宿る宇宙観と芸術について語り合います。

出演： 泉 武夫(東北大学大学院文学研究科教授)

篠原資明(高松市美術館館長、京都大学名誉教授)

向山喜章(アーティスト)、前田征紀(アーティスト)

モデレーター： 椿 玲子(森美術館アソシエイト・キュレーター)

日時： 2016年10月4日(火) 19:00-21:00 (開場：18:30)

会場： 森美術館オーデトリウム **定員：** 80名(要予約) **料金：** 無料(要展覧会チケット)



泉 武夫



篠原資明



向山喜章

前田征紀
撮影：ホンマタカシ

◆「森美術館×六本木天文クラブ」コラボレーション 小中学生プログラム

■サマーナイト・ミュージアム「“宇宙と芸術展”と“星空”をみよう！」 ※日本語のみ

夜の森美術館を貸し切り、「宇宙と芸術展」を美術館スタッフと一緒に鑑賞して、星に関する専門家からの話を聞いたあと、森タワーの屋上スカイデッキから星空を観察す。夜のミュージアムで、宇宙のふしぎと芸術についてに想いをはせてみませんか？

出演： 高梨直紘(東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム特任准教授/天文学普及プロジェクト「天プラ」代表)

日時： 2016年8月9日(火) 18:00-21:00 (開場：17:30)

会場： 森美術館オーデトリウム、東京シティビュー「スカイデッキ」

対象： 小学生～中学生 **定員：** 40名(要予約、抽選) **料金：** 無料(要展覧会チケット及びスカイデッキ入場料)

*「星空観察会」は天候により中止の可能性があります。その場合、スカイデッキ入場料(大人500円、小学生300円)は不要です。

*夜のプログラムとなりますので、保護者同伴でご参加ください。

■星のおはなしとワークショップ「天体望遠鏡をつくろう」 ※日本語のみ

「宇宙と芸術展」を鑑賞して、月のクレーターや土星のリングも見える本格派天体望遠鏡をつくります。組み立てから使い方、星空の見どころまでを天文の専門家がわかりやすく教えます。

日時： 2016年8月26日(金) 17:00-20:00 (開場：16:30)

会場： 森美術館オーデトリウム、東京シティビュー「スカイデッキ」

対象： 小学生～中学生 **定員：** 40名(要予約、抽選)

料金(税込)： 3,000円(材料費) ※別途、展覧会チケット及びスカイデッキ入場料が必要です。

監修： 天文学普及プロジェクト「天プラ」

*「星空観察会」は天候により中止の可能性があります。その場合、スカイデッキ入場料(大人500円、小学生300円)は不要です。

*夜のプログラムとなりますので、保護者同伴でご参加ください。

・出演者は予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。

・その他、ギャラリートーク、ワークショップ、学校プログラム、ファミリープログラム、アクセスプログラムなどを多数予定しています。

パブリックプログラムに関するお問い合わせ： 森美術館 パブリックプログラム

Tel: 03-6406-6101(月～金: 11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351 E-mail: ppevent-mam@mori.co.jp

〔同時開催〕 会期：2016年7月30日(土)－2017年1月9日(月・祝)

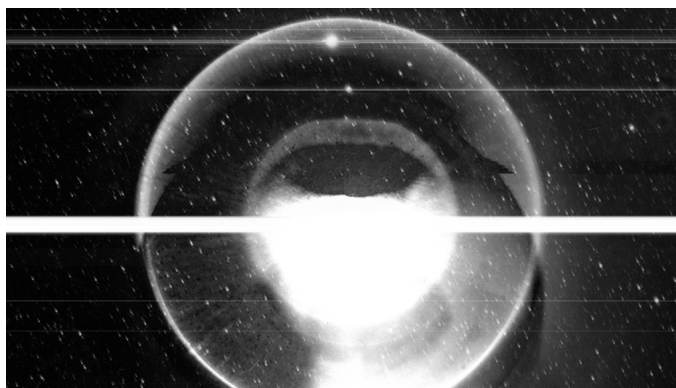
MAM
SCREEN

MAMスクリーンは、世界の多様な映像作品のなかから選りすぐりの
シングル・チャンネル作品を上映するプログラムです。

MAMスクリーン004:宇宙から地球を観る

企画：椿玲子(森美術館アソシエイト・キュレーター)

「MAMスクリーン004」は、「宇宙と芸術展：かぐや姫、ダ・ヴィンチ、チームラボ」と連動したシングル・チャンネル映像作品プログラムを開催します。宇宙を通じて現代の人間社会を俯瞰し、地球を宇宙的な視座で見つめ直すことで、地政学やジェンダーの問題、異星人という言葉の持つ意味などについて考えます。それぞれの作家の視点にとらえた宇宙観が、スクリーンの上に生き生きと展開される、必見のプログラムです。



セミコンダクター 《黒い雨》
2009年 シングルチャンネル・ビデオ
3分

スプツニ子！
《ムーンウォーク☆マシン、セレナの一步》 2013年 ビデオ 5分4秒
撮影：Rai Royal 画像提供：SCAI THE BATHHOUSE

MAMスクリーン 上映作品（予定）

前期 (2016年7月30日－10月18日)

1. 山本高之 《Facing the Unknown》 2012年 13分59秒
2. セミコンダクター 《黒い雨》 2009年 3分
3. トム・サックス 《スペース・キャンプ》 2012年 6分12秒
4. シェザド・ダーウッド 《可能性に向かって》 2014年 20分
5. スプツニ子！ 《ムーンウォーク☆マシン、セレナの一步》 2013年 5分4秒
6. 瀬戸桃子 《プラネットA》 2008年 7分40秒

後期 (2016年10月19日－2017年1月9日)

1. ホー・ツーニエン(何子彦) 《ニュートン》 2009年 4分16秒
2. トム・サックス 《スペース・プログラム》 2007年 12分9秒
3. 牧野 貴 《Space Noise》(ショート・バージョン) 2016年 8分
4. アレクサンドル・モベール 《トリニティ(三位一体)》 2015年 17分40秒
5. ジャン・ワン 《月面経済特区》 2014年 4分20秒
6. 瀬戸桃子 《プラネットZ》 2011年 9分30秒